

ネットラーニング 2011 年度秋期試験 IT パスポート試験 問題分析・講評

■問題分析

【小問形式】

系	問	解答	問題テーマ	定番問題	新傾向
ストラテジ系 (32 問)	1	ア	OJT に該当するもの	☆	
	2	イ	CIO の役割	☆	
	3	エ	DFD を用いて検討するのに適しているもの	☆	
	4	エ	コンピュータプログラムに関する著作権の説明	☆	
	5	イ	IT 関連サービス名称の適切な組合せ		☆
	6	イ	商品 1 個あたりの変動費の計算		
	7	ウ	電子証明書の申請から電子入札までの適切な手順		☆
	8	ウ	オピニオンリーダーの説明		☆
	9	ア	損益計算書の営業利益の算出に関する費用		
	10	ウ	クロスライセンスにおける特許の実施権に関する説明		☆
	11	ウ	電化製品等に組み込みシステムを採用する利点		☆
	12	ウ	システム開発に関する投資プロジェクトのうち最も早く投資を回収できるもの		
	13	ア	可用性の観点でサービスを評価する項目として適切なもの		☆
	14	ウ	パレート図の説明として適切なもの	☆	
	15	イ	標準化規格とその対象分野の組合せのうち適切なもの		☆
	16	イ	監査役を選任するものまたは機関として適切なもの		
	17	エ	情報システムの構築において将来の変更や他の情報システムの開発に、部品を容易に利用できる仕組み		
	18	ウ	製造物責任法によって責任を問われるケース		
	19	ア	多品種少量生産向きの生産方式		☆
	20	エ	コンピュータソフトウェアを使った新しいビジネスの方法に関して取得できる知的財産権として適切なもの		☆
	21	イ	電子商取引のうち B to C に当たるもの		☆
	22	イ	競合他社に模倣されにくいスキルや技術を示すもの	☆	
	23	ア	キャッシュフロー計算書に記載される商品の販売による収入		☆
	24	イ	相互の意思決定における期待値の計算		
	25	ウ	業務システムの新規開発を計画している企業が SI ベンダーに出す RFP の目的	☆	
	26	ウ	発注時に最低限必要な在庫量の計算		
	27	イ	不正アクセス禁止法に関する記述	☆	
	28	ア	プロバイダの対応責任の対象になり得る事例		☆
	29	イ	企画プロセスの段階で行う作業として適切なもの		☆

系	問	解答	問題テーマ	定番問題	新傾向
ストラテジ系 (32 問)	30	イ	民法上の請負人の義務となるものだけを全て挙げたもの		☆
	31	ア	SFA システムの運用において管理すべき情報として最も適切なもの		☆
マネジメント系 (20 問)	32	ウ	グラフにおける保守作業のうち最も適切なもの		☆
	33	ウ	目標を設定する工程のうち適切なもの		☆
	34	エ	ソフトウェアの品質特性のうち使用性に分類されるもの		
	35	ア	システムの具合の暫定的な回避策を実施し迅速な復旧を行うプロセス		
	36	ア	内部統制に関する記述のうち適切なものだけを全て挙げたもの		
	37	ウ	全てのテストにかかる合計時間の計算		☆
	38	ア	リスクチェックリストに関する記述のうち適切なもの		☆
	39	ウ	情報システムの運用における変更管理に関する記述のうち適切なもの		
	40	イ	ITIL の説明として適切なもの		
	41	エ	ソフトウェア開発プロセスにおける結合テストの実施内容として適切なもの		☆
	42	イ	新営業店システム開発プロジェクトの作業を階層的に表現する手法		☆
	43	ウ	無停電電源装置の利用方法に関する説明のうち適切なもの		
	44	イ	システムテストで検証する内容として適切なもの		
	45	イ	社内でのシステム監査実施部門の位置付けとして適切なもの		
	46	ウ	SLA のサービスレベル項目のうち、可用性に分類されるもの		
	47	ウ	インシデントの根本原因を追求し再発を防止するプロセス		
	48	ウ	計画に基づいた作業を実施する工程として適切なもの		
	49	ウ	システム化を進めるに当たり最初に行うべき作業		
	50	ウ	IT ガバナンスを説明したもの		
	51	エ	進捗管理に関する技術だけを全て説明したもの		☆
52	イ	ソフトウェアによる自動処理と人手による処理を組み合わせた統制について記述しているもの			
テクノロジー系 (36 問)	53	エ	データベース管理システムを利用する目的		
	54	ウ	サーバの仮想化に関する記述として適切なもの		☆
	55	ウ	自宅や外出先などから利用者がデータを読み書きできるもの		☆
	56	ア	ネットワークのデータ転送速度を表す単位	☆	
	57	ウ	表の関係を示した E-R 図		☆
	58	イ	ネットワークインタフェースカードの役割として適切なもの		
	59	イ	迷惑メールを受信したときに避けるべき行動		

系	問	解答	問題テーマ	定番問題	新傾向
テクノロジー系 (36 問)	60	エ	デジタル署名が付与されている場合に判断できることだけを全て挙げたもの	☆	
	61	イ	ウイルス対策ソフトに関する記述のうち適切なものだけを全て挙げたもの		☆
	62	ウ	WEB アクセシビリティの説明して適切なもの		☆
	63	ウ	データの整合性を保つための対策		☆
	64	エ	設問の処理を実施した後の状態		☆
	65	ウ	関係データベースの表の値		☆
	66	エ	OSS の利用に関する記述のうち適切なもの		☆
	67	イ	システムの平均修理時間の計算		
	68	ウ	LAN の構築に必要なもの		
	69	ウ	セルに入力する計算式		
	70	エ	VPN に関する記述のうち最も適切なもの		
	71	ウ	SSL に関する記述のうち最も適切なもの		
	72	ウ	設問の処理を実施した後の状態		☆
	73	ア	設問のデータが表す値に文字列全体が一致するもの		
	74	ウ	階層型ディレクトリ構造のファイルシステムに関する用語と説明の組合せとして適切なもの		☆
	75	イ	電子メールの安全性や信頼性に関する記述のうち適切なもの		
	76	ウ	システムへのデバイスドライバを組み込みや設定を自動的に行う機能		
	77	エ	プロトコルに関する記述のうち適切なもの		
	78	ア	データ量の大小関係のうち正しいもの	☆	
	79	ウ	データの読み書きが高速な順に並べたもの	☆	
	80	ウ	情報セキュリティにおける可用性の説明として適切なもの	☆	
	81	ウ	職場でのパスワードの取り扱いに関する記述のうち適切なものだけを全て挙げたもの		☆
	82	ア	RAID1 の特徴として適切なもの		
	83	イ	情報セキュリティ基本方針の説明として適切なもの	☆	
	84	イ	第三者に漏れないように管理すべき鍵だけを全て挙げたもの		☆
	85	ア	一度の認証を許可されている複数のサーバやアプリケーションなどを利用できる仕組み		☆
	86	ア	シンクライアント端末の説明として適切なもの		
	87	イ	フィッシングの説明として最も適切なもの		
88	ア	PC と周辺機器などを無線で接続するインタフェースの規格			

【中間形式】

系	問	解答	問題テーマ	定番問題	新傾向
A. デジタル画像に関する記述	89	エ	設問と一致するデジタル画像		☆
	90	イ	画像データを圧縮した結果の文字数		
	91	エ	設問の処理を流れ図で表す適切な字句		
	92	イ	設問の記述の結果を大きい順に並べたもの		
B. インターネットを使った商品販売システムに関する記述	93	ウ	設問の記述を実施する順番に並べたもの		☆
	94	イ	システム要件を 10 日間でまとめるために必要な最低人数		
	95	エ	作業のクリティカルパスに掛かる日数		
	96	エ	設問の条件に合う適切な文章記号の組合せ		
C. 売上向上プロジェクトに関する記述	97	イ	インタビュー調査を選択した理由として適切なもの		☆
	98	ウ	インタビュー調査の進め方として適切なもの		
	99	イ	プロジェクト計画書の記述順として適切なもの		
	100	ウ	推測に従って実施すると予想利益が最大になる販売促進策		

■講評

【総評】

今回は新試験制度となって6回目の試験です。3月の大震災の影響で、前回の試験日が7月だったこともあり、ITパスポート試験の応募者は約5万6千人(4千人減)でした。応募者減が合格率にどのような変化をもたらすのかが気になりますが、最近の合格率をみると、平成22(2010)年度春期が42.3%、同秋期が51.9%、23(2011)年春期特別が44.8%と、40~50%台で推移しています。

今回の試験では、問5の「適切な組合せはどれか」、問36の「適切なものだけを全て挙げたものはどれか」のように、適切な記述の組み合わせを選択する問題が7問でした(前回5問)。このような出題は、重要語句を知っていれば解けるような従来タイプの問題より考える時間が長くなりやすく、時間難易度が高い問題といえるでしょう。

出題の印象としては、問い方が新しい問題という観点も加えて新鮮味がある出題が多い反面、過去問題も一定数ちりばめて出題されるなど、CBT試験が本格的に導入される時期ということもあり、トライアルの要素も交えて多角的に出題されています。中間形式の問題は、やや難しい問題でした。

出題形式が新しい問題が増えたので、一概には比較が難しいのですが、前回と比べて、小問は「やや易しい~例年なみ」、中間は「やや難しい」といえるでしょう。

今回の試験を分析すると、下記のようになります。

分野	分類	2011年秋期 (今回)		2011年春特別 (前回)	
		出題数	全体比率	出題数	全体比率
ストラテジ系 (35問 うち小問31問、 中間4問)	企業と法務	18	18%	15	15%
	経営戦略	6	6%	8	8%
	システム戦略	11	11%	12	12%
マネジメント系 (25問 うち小問21問、 中間4問)	開発技術	8	8%	9	9%
	プロジェクトマネジメント	6	6%	6	6%
	サービスマネジメント	11	11%	10	10%
テクノロジ系 (40問 うち小問36問、 中間4問)	基礎理論	7	7%	5	5%
	コンピュータシステム	13	13%	14	14%
	技術要素	20	20%	21	21%

【小問形式(問1~88)】

ストラテジ系は、「企業と法務」の問題がやや増えました。より幅広い学習が必要な出題としては、問19の多品種少量生産向きの生産方式、問24の相互の意思決定における期待値の計算(ゲーム理論)などが出題されました。新傾向の問題としては、問7の電子入札までの適切な手順、問8のオピニオンリーダー、問13の可用性の観点でサービスを評価する項目(ストレージサービス)などでした。

マネジメント系は、知識に加えて実践的にグラフを読んだり、計算をしたりする力をはかる問題が増えた印象です。新傾向の問題としては、問32の保守作業のうち適切なもの(内訳の推測)、問37の全てのテストにかかる合計時間の計算、問38のプロジェクトのチェックリストに関する記述、問45のシステム監査実施部門の位置付けなどでした。

テクノロジ系は、問題のテーマに関連する語句や性質を知っていれば解ける問題が多いという印象です。新傾向の問題としては、問55の自宅や外出先からデータを読み書きできるもの(ディスク貸出サービス)などでした。

【中間形式(問 89～100)】

中間 A は、テクノロジー系の出題でデジタル画像に関する処理(符号化とデータ圧縮)の問題です。題意の理論に基づいてアルゴリズムをトレースして、整理しながら考えて解きすすめます。

中間 B は、マネジメント系の出題でインターネットを使った商品販売システムの開発の問題です。題意にある企業間の関係や要件をよく読んで整理しながら解きすすめます。

中間 C は、ストラテジ系の処理で装飾販売会社の売上向上プロジェクトの問題です。インタビュー調査に関する記述に基づきプロセスを整理しながら解きすすめます。

今回、出題された中間は、どれも論理構成をしっかりとられて考える問題ばかりで構成されていたので、これまでの中間より、時間難易度という観点からやや高めであったと考えています。